

## 避難中のペット飼育環境

災害の種類や被災状況、自らの状況を踏まえて、以下のような選択肢から適切な飼育環境を選択してください。

### 1 避難所生活

避難所運営職員の指示に従い、飼い主が責任をもって飼育・衛生管理を行いましょう。避難が長期的になる場合は、飼い主同士の協力体制を作りましょう。

### 2 在宅避難

避難所への避難ではなく、自宅に留まる避難です。在宅避難を考えている方は、事前に自宅が安全なのかをハザードマップなどにより確認しておきましょう。

### 3 車の中で飼育

ペットを車内で飼育すると、ペットの健康を損なう恐れがあります。車内で飼育する場合は温度や湿度を確認し、熱中症などに気をつけましょう。

### 4 一時預け先での飼育

災害時に預かってもらえる親戚、知人、動物病院または民間団体の施設などを、事前に確認しておきましょう。

# ペット防災ハンドブック



この手帳は、災害時にペットと安全に避難し、安心して生活するための手引きとして作りました。災害に対しての備えや、災害時の注意事項をまとめ記載しています。記入後は、ペット用非常持出袋に入れて、いつでも持ち出せるようにしてご活用ください。



三次市

裏表紙

表紙

## 住まいの防災

- 住まいの耐震強度の確認
- 家具の固定、転倒・落下防止
- 飼育ケージの固定、転倒防止
- ペットの避難場所（隠れ場所）の確保（ケージ等）

## ペットの情報

写真

ペットの外見や特徴がわかる写真を貼りましょう。

ペットの名前：

ペットの種類：犬・猫

犬種・猫種：

体色： 体重 kg

性別：オス・メス 避妊・去勢手術：未・済

登録番号（犬のみ）：

マイクロチップ：無・有（No.）

その他の特徴：

## ペット同行避難所、避難経路の確認

- 避難所までの安全な避難経路の把握
- ハザードマップなどで危険な場所の把握
- ペット同行避難受け入れ条件などの確認
- ペット同行避難訓練への参加
- いざというときの一時預け先の確保
- 個人の防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成

「ペット同行避難」とは、災害発生時に、自宅からの避難が必要な飼い主が飼育しているペットを同行し、指定された避難所に避難することで、避難所において飼い主が、ペットと同室で飼育管理することではありません。

## 飼い主の情報

### 写真

飼い主とペットが一緒に写っている写真を貼りましょう。  
飼い主であることを証明するときに役に立ちます。

住所：〒\_\_\_\_\_

谷折り

氏名：\_\_\_\_\_

電話番号：\_\_\_\_\_

携帯番号：\_\_\_\_\_

かかりつけの動物病院

病院名：\_\_\_\_\_

## 災害発生時の対応

- まずは飼い主の身の安全を確保しましょう。
- ペットが動搖している場合があります。落ち着いてペットの安全を確認してください。
- 犬は首輪にゆるみがないか確認し伸縮しないリードを付け、小型のペットはケージに入れて避難してください。
- 避難するときは見知らぬ動物に近づかず、不用意に手を出さないでください。

### 災害の心得

- まず、自らの安全を確保しましょう。次にペットの適正飼養に努めましょう。
- 平常時からのしつけや健康管理が、最も有効な災害対策になります。
- ペットを守ることができるのは飼い主だけです。周囲と協力して、ペットと共に災害を乗り越えましょう。

## 日頃からの備え

- 狂犬病予防注射と各種ワクチンの接種
- ノミ・ダニなどの外部寄生虫の予防・駆除
- フィラリアなどの内部寄生虫の予防・駆除
- 不妊・去勢手術の実施
- 首輪
- 迷子札
- 鑑札（犬のみ）
- 狂犬病予防注射済票（犬のみ）

## 基本的なしつけ

- 「おいで」「おすわり」「まて」などのしつけ
- 決められた場所で排泄
- 人と動物との接触に慣らす
- キャリーバックやケージに慣らす
- 様々な音や物に慣らす
- 不必要に吠えない・鳴かない

## 動物用避難用品の準備

### 最優先物品

- ペットフード5日分（できれば7日分）
  - 療法食
  - 飲料水5日分（できれば7日分）
  - 食器
  - ケージ、キャリーバック、リード（伸びないもの）
  - 常用薬
  - ペットシーツ等トイレ用品
  - 消臭スプレー
  - 毛布
- あると便利なもの
- ブラシ
  - ウェットティッシュ
  - タオル
  - ポリ袋